

講演 「一流の製品は一流の人格から」

西島株式会社 代表取締役 西島篤師

今日は素晴らしいお天気ですが、窓の外を見ていただくと東三河で一番高い本宮山が見えます。当社では新入社員歓迎の行事で毎年この山に登ります。最初は一番早い人で53分、遅い人で約3時間かかりました。そのうち、あまりに遅い人は車で拾って山頂に連れて行くようになりました。そして早い人には賞金を出すようにしました。そうしたら、最速者で37分、遅い人でも1時間50分で登れるようになりました。今ではトレーニングで毎週登っている人もいます。人生は、経験したことのない坂道を登るがごとく、しかし、頂上に到達した達成感は、登った人しかわからない感動です。

さて、先ほどのご紹介にもありましたが、私は文科系の大学を卒業してからドイツの工業大学に留学しました。ドイツでは工業大学入学の前に3ヶ月以上の現場実習が義務づけられています。私はメルセデスベンツの工場働くことになりました。指導者のマイスターに徹底的に鍛えられましたが、そのすばらしい技には感動しました。そしてこれがドイツの誇る工業技術の基礎なのだということを実感しました。

そこで朝から晩までヤスリがけの実習です。課題としてベンツのトラックの模型をヤスリの手作業だけで仕上げるというものがありました。マメだらけになりながら必死で仕上げました。16人の実習生の作品の中から合格品が2つ選ばれました。その一つがこれです。私の一生の宝となっています。この実習では、現場を大切にすること、基礎・基本が非常に大切であるということのみっちり教えられ、身に付いたと思います。

当社の歴史を次にお話しします。大正13年に先々代が創業しましたが、創業者の信念は「西島の発動機は腐っても鯛」でした。つまり、何をおいても一流の製品をつくるということです。玄関のロビーにも展示してありますが、性能日本一の発動機をつくったのもこの頃です。

戦後の先代の時には苦難の時代もありましたが、朝鮮戦争の特需景気を経て、部品加工だけでなく、油圧・空圧を用いた専用機の製造を手がけました。その後、NC工作機械の自社開発や時代に先駆けてのCAD導入などもしてきました。現在の主力製品のひとつである切断機のNCも自社開発です。

経営方針としては2つあります。1つは自社一貫生産と多能工の育成です。開発・設計から製造まで、機械加工や組立だけでなく、電気、電子、ソフトウェアまで、外注に頼らない自社一貫生産を行っています。この根っこは一流の製品を作るためには妥協してはいけないという先代、先々代の教えにあります。このことが一流の品質・性能をもつ製品をつくる上で最も大切です。成功や失敗も自社で経験していくことが大切と考えるわけです。

もう1つは人を大事にするということです。当社には定年という制度がありません。また、格安の社員寮や社宅もあります。私が12年前に当社を任されて最初の仕事が勤続30年の

社員の表彰でした。その表彰状が講堂に飾ってあります。彼らは現在の当社の基礎を築いた最古参の社員ですが、今でも現役の熟練技能者として活躍している70代の社員が多数います。彼らの中には、油圧の音を聞いただけでも機械の調子がわかったり、神業ともいえる摺り合わせ、きさげの技術を持っている者もいます。そして今はその技術を若い人達に伝えるように日夜奮闘しています。

また、今でも親子3代にわたって働いている社員もいます。60才定年制というのはプロイセンのビスマルクが始めたのだそうですが、19世紀後半の60才と現在の60才では大違いです。私の考えでは仕事と年齢は関係ありません。コンビニの前で座り込んでいる10代、20代の老人もいれば、70代、80代で元気に働く青年もいます。健康と意欲、豊かな経験と熟練した技能がある限りいつまでも働けます。

当社の管理職である課長、部長たちはもともと熟練技能者でもあります。今の仕事を終えた後は熟練技能が残ります。技術は永久に発展しますので、今度はその面で働いてもらうわけです。このように当社は人と経験と技能を大切に、「一生元気、一生現役」の精神で世の中のお役に立つ仕事ができるように頑張っています。